

1. 会議

1.1 総会

第 51 回定時社員総会を 2024 年 5 月 31 日(水)に大阪にて開催した。主要な議題は、2023 年度事業報告と収支決算報告、2024 年度事業計画と事業予算であった。

1.2 諮問会

第 13 回諮問会を 2024 年 4 月 18 日(木)～24 日(水)にメール審議にて開催した。総会に提出する議案に関し、幅広く意見を伺った。

1.3 理事会および運営審議会

理事会を 3 回(第 127,128,129 回)、運営審議会を 2 回(第 35,36 回)開催した。総会・諮問会への提出議案、学会運営等について審議した。

1.4 賞選考委員会

第 29 回賞選考委員会を 2024 年 4 月 5 日に開催し、第 48 回レーザー学会業績賞(論文賞、進歩賞)及び奨励賞を審議した。また、第 44 回年次大会実行委員会が論文発表賞の選考結果を、第 16 回産業賞選考委員会が産業賞の選考結果を、賞選考委員会に報告した。

また、第 17 回産業賞選考委員会を開催し、第 17 回産業賞の選考を行った。

2. 事業, 行事

2.1 編集委員会および会誌出版

会誌「レーザー研究」を年 12 冊(第 52 巻 4～12 号および第 53 巻 1～3 号)、毎月中旬に発行した。このため、編集委員会を 12 回(第 529～540 回)開催し、企画編集、進捗フォロー、次号ゲラ刷りのチェック等を実施した。

2.2 研究委員会および研究会

研究委員会を 4 回(第 262～265 回)、研究会を 11 回(第 585～595 回)開催した。開催した研究会のうち、主催は 10 回、他学会との共催は 1 回であった。主催の研究会では資料「研究会報告」を作成し、参加者に販売するとともに、年間購入予約者に頒布した。

2.3 技術専門委員会

技術専門委員会は 15 件(新規 2 件、継続 11 件、期中 2 件)を実施した。学会ホームページ上に各委員会の設立・継続にあたっての目的を明らかにし、2023 年度活動実績を会誌および学会ホームページに掲載し、賛同者を募り、学会内コミュニティ形成のための基盤作りに努めた。

2.4 総務委員会

総務委員会を 7 回(第 270～276 回)開催し、学会の会員状況、会計状況、事業計画の進捗状況を確認した。

2.5 事業委員会

事業委員会を 2 回(第 4, 5 回)開催し、新規事業(認定事業実行委員会、夏の展示会イベント実行委員会)の審議、およびレーザー EXPO 実行委員会、安全セミナー実行委員会、認定事業実行委員会、夏の展示会イベント実行委員会の活動実績の確認、次年度計画の審議を行った。

2.6 学術講演会年次大会

第 45 回大会は、併設展示会「Laser Solution 2025」と併せ、2025 年 1 月 21 日(火)～23 日(木)の平日に、広島国際会議場(広島県広島市)にて開催した。シンポジウムは 10 テーマを企画、日本光学会とのジョイントシンポジウムを実施した。参加者は 795 人、講演数は 481 件であった。

2.7 国際交流

“Optics & Photonics International Congress (OPIC) 2024”が、2024 年 4 月 22 日(月)～26 日(金)の期間、パシフィコ横浜にて開催された。16 の専門会議が開催され、うち“Advanced Lasers and Photon Sources Conference (ALPS)”と“Optical Wireless and Fiber Power Transmission Conference (OWPT)”を当学会が主催した。

2.8 人材育成

(1) レーザー特別セミナー

2024年4月24日～26日に開催された“レーザーEXPO2024”に併設して、レーザーの基礎に重点を置くとともに、レーザー応用技術、産業界への普及例、および最新の製品開発のトピックスまでを網羅した特別セミナーを開催した。

(2) レーザー安全セミナー

2024年10月29～31日にパシフィコ横浜にて開催された“InterOpto2024-レーザーの科学技術フェア”との同時開催で、2024年10月31日(木)にレーザー安全セミナーを開催した。受講者は71名であった。

(3) レーザー夏の学校(レーザー夏の学校実行委員会、レーザー学会共同主催)

光・レーザー分野の研究に携わる学生及び若手研究者の交流、研究意識向上を目的として、当学会として教育及び学術交流の観点から本行事に支援を行った。第31回レーザー夏の学校は2024年9月7日～8日の期間、伊豆山研修センターにて開催され、96名の参加者があった。

2.9 展示会

(1) レーザーEXPO 2024

レーザー機器の展示会“レーザーEXPO2024”をパシフィコ横浜展示ホールにて、2024年4月24日(水)～26日(金)に開催した。

(2) Laser Solution 2025

第45回年次大会(広島国際会議場)において、レーザー機器、書籍等の展示会“Laser Solution 2025”を併催し、32社の出展があった。

2.10 表彰, 認定, 賞推薦・助成推薦

第48回レーザー学会賞(業績賞・論文賞, 業績賞・進歩賞, 奨励賞), 学術講演会第44回年次大会論文発表賞および学会活動に貢献のあった者の表彰を行った。また、レーザー関連技術及び事業において顕著な功績のあった者にレーザー学会産業賞(優秀賞, 奨励賞, 貢献賞, 選考委員特別賞)の表彰を行った。

2.11 支部活動の展開

支部活動の活性化による地域の状況に応じた会勢拡張と位置付けて、国内6支部にて、地域の会員へのレーザー関連学術情報提供サービス推進のため、単独および他学会支部との共催によるセミナー、研究会、講演会開催、情報交換、支部表彰等の活動を実施した。

2.12 関連学協会等との連携および協力

他学会、研究団体および関連業界との共催、協賛、後援による研究会、講演会等の開催を通じて、関係団体との連携、協力を推進した。レーザー学会学術講演会において、日本光学会とのジョイントシンポジウムを実施した。

3. その他

3.1 会員動向(年度比較)

賛助口数は増加し、2020 年度と同等レベルまで回復。会員数は前年度と同等レベルを維持。会員数の月別推移から、年次大会の影響が大きいことがわかる。会員数に民間が占める割合は、昨年度と変わらず約 3 割である。光・レーザー応用分野の幅広い取込みが課題である。

2024, R6 年度(2025 年 3 月)

個人会員 1,253 名(正会員 1,097 名、学生会員 150 名、名誉会員 6 名), 賛助会員 98 社(121.25 口)

(参考)

2023, R5 年度(2024 年 3 月)

個人会員 1,271 名(正会員 1,093 名、学生会員 172 名、名誉会員 6 名), 賛助会員 93 社(116.25 口)

2022, R4 年度(2023 年 3 月)

個人会員 1,247 名(正会員 1,081 名、学生会員 159 名、名誉会員 7 名), 賛助会員 94 社(117.25 口)

2021, R3 年度(2022 年 3 月)

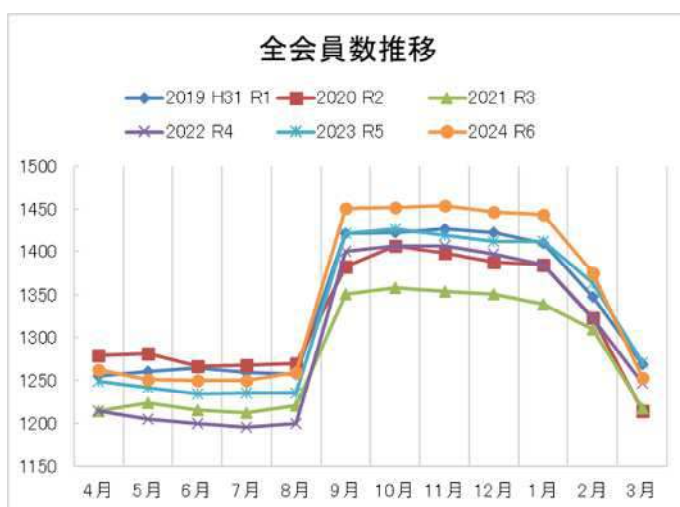
個人会員 1,218 名(正会員 1,094 名、学生会員 118 名、名誉会員 6 名), 賛助会員 94 社(117.75 口)

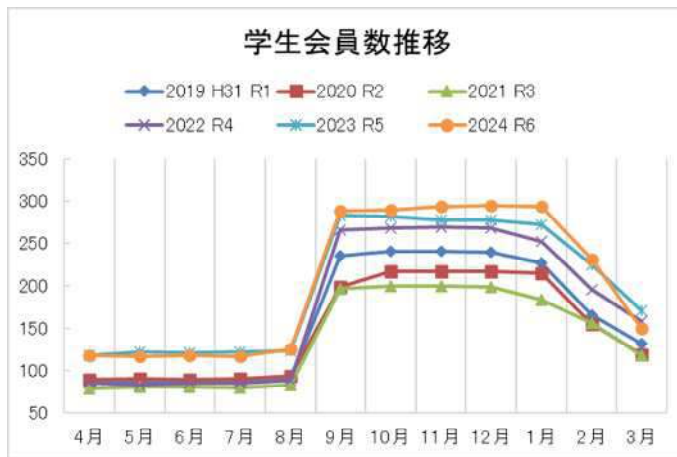
2020, R2 年度(2021 年 3 月)

個人会員 1,214 名(正会員 1,088 名、学生会員 120 名、名誉会員 6 名), 賛助会員 97 社(121.75 口)

2019, R1/H31 年度(2020 年 3 月)

個人会員 1,269 名(正会員 1,132 名、学生会員 132 名、名誉会員 5 名), 賛助会員 93 社(117.75 口)





2025年3月末現在の会員の内訳

